

静岡における次世代理数才能育成シンポジウムの開催案内

1 開催の趣旨

静岡大学では小学生から中学生、高校生までを対象に、幅広く静岡の次世代理数才能育成を目的に複数の企画を展開しています。これらの企画が相互に連携し一貫した教育システムの構築ができれば、次世代理数才能育成のさらなる向上が期待できます。その第一歩として、このたび標記のシンポジウムを開催します。

2 日時 令和2年3月9日（月）14時から16時

3 会場 静岡大学共通教育A棟 303会議室（静岡市駿河区大谷836）

4 シンポジウムの内容

14:00-14:05 挨拶 丹沢哲郎 理事・副学長

14:05-14:10 諸連絡 瓜谷眞裕

14:10-14:30 藤間 信久（静岡大学工学部）

講演1 ものづくり理科地域支援ネットワーク・浜松RAIN房におけるダヴィンチキッズプロジェクトの活動

14:30-14:50 山本 仁（トップガン教育ディレクター）

講演2 科学技術の芽生えを促すトップガン教育

14:50-15:10 熊野 善介（静岡大学教育学部）

講演3 静岡STEMアカデミー（JSTジュニアドクター育成塾事業）の2年間の取り組みの実践と評価

15:10-15:30 谷 俊雄（静岡科学館次長）

講演4 科学館における理数才能育成事業の位置づけと課題

15:30-15:50 瓜谷眞裕（静岡大学理学部）

講演5 「つなげる力で世界に羽ばたけ 未来の科学者養成スクール」の目指すものとその成果

15:50-16:00 総合討論

5 主催 静岡大学

問合せ先 静岡大学 FSS 事務室
TEL 054238-4848 Fax 054-238-4328
E-mail office@fss.shizuoka.ac.jp

静岡における次世代理数才能育成シンポジウム

1 ものづくり理科地域支援ネットワーク・浜松RAIN房におけるダヴィンチキッズプロジェクトの活動

藤間 信久（静岡大学工学部 教授）

ものづくり理科地域支援ネットワーク・浜松RAIN房はJST地域ネットワーク支援事業として2008年に発足しその後自立化し現在に至っている。浜松RAIN房は、地域を対象に広く浅い理科普及活動を行うことを目的とする事業であるが、当初から理系に優れた児童・生徒に対し通常の学校教育ではできない狭く深い活動を行ってほしいと声が高く、2010年から同事業の一環としてダヴィンチキッズプロジェクトを発足させた。本講演ではこれまでのダヴィンチキッズプロジェクトの取り組みと成果について報告する。

2 科学技術の芽生えを促すトップガン教育

山本 仁（静岡大学 特任教授・トップガン教育ディレクター）

平成21年より活動していた旧浜松東三河地域イノベーション戦略推進協議会の長期的教育システム研究チーム（通称：トップガン）の後継として、平成 29年度より設立。静岡県西部において大学、自治体、企業が連携して、特に理数系の分野において子ども達の個性を伸ばして“得意”を“特異”とする教育システムの確立を目指す。理科、算数の大会を開き得意な子を発掘。さらに大学教員の課外講座、科学の甲子園Jr、数学オリンピックJrへの支援を行っている。

3 静岡 STEM アカデミー（JST ジュニアドクター育成塾事業）の2年間の取り組みの実践と評価

熊野善介（静岡大学教育学部 教授）

静岡 STEM アカデミーは、小学校 5 年生から中学校 3 年生を対象とした 3 年間のプロジェクトである。このプロジェクトは 26 年度からの JST の次世代科学者育成事業に合格したことから始まった。その後、毎年度の学長教育戦略特別経費に継続して採択されたことがとても重要であった。本発表では、平成 30 年度から令和元年度までの事業実践と評価についての中間報告を中心に行う。どのような計画で実際はどのような実践が行われ、どのような成果が行われたかについて発表を行う。

4 科学館における理数才能育成事業の位置づけと課題

谷 俊雄（静岡科学館 次長）

静岡科学館は、社会教育施設として、市民の多様な興味・関心に応えるべく運営されている。多彩な事業の中、継続的な科学探究活動の場に特化した「理数大好き教室」を 2009 年 5 月から実施している。ここには、小学校 5 年生から中学校 3 年生までの 20 名が毎年在籍し、自由研究を行い、対外発表等への支援を受けてきた。今回は、他の人材育成事業と対比しながら同事業の特徴や成果を明確化すると共に、小中学生年代が抱える課題を報告したい。

5 「つなげる力で世界に羽ばたけ 未来の科学者養成スクール」の目指すこととその成果

瓜谷眞裕（静岡大学理学部 教授）

グローバルサイエンスキャンパスは高校生を対象とした科学技術振興機構の理数人材育成事業である。静岡大学は平成 29 年度より「未来の科学者養成スクール」を、学長の下全学体制で実施している。静岡全域と近隣地域から意欲と能力の高い高校生を集め、月 1 回程度の講義とワークショップで分野横断的な思考力とグループワークを通して解を導く力を身に付ける。一方で、高校生の着想に基づく研究を大学教員の指導の下で行い、その成果を発表する。本シンポジウムでは、これまでの取り組みと成果について報告する。